

カンボジアの感染症対策に日本の 中小企業が活躍

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」においてテナエナジー株式会社(東京都千代田区、山本貴士代表取締役)、株式会社小島組(神奈川県厚木市、岡見健代表取締役)共同企業体が提案する「次世代型小型医療廃棄物焼却炉による感染症および二次感染対策強化案件化調査」(カンボジア国)を採択しました。

カンボジア国内では、医療環境は改善されていますが、医療廃棄物処理設備の老朽化や不足により、安全かつ適切に医療廃棄物を処理することが困難なため、感染症及び二次感染が課題となっています。

提案企業の製品は、医療廃棄物に特化した小型焼却炉で、安定した高温焼却により、適切に医療廃棄物を処理できます。同時に環境に配慮し、無煙・無臭化を実現しています。

本案件化調査では、小型医療廃棄物焼却炉導入を通じた、感染症防止対策に関する調査を行います。カンボジア国内の病院に対し、操作が簡単な小型焼却炉を導入することで、感染症リスクの低減、衛生環境の改善を目指します。



この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 1 回分は本年 2 月に公示を行いました。117 件の応募のうち 35 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 小井塚 (案件担当)、橋本 (広報担当)
TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp